



2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月15日

上場会社名 チタン工業株式会社
 コード番号 4098 URL <http://www.titankogyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 井上 保雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 西田 敦

TEL 0836-31-4155

定時株主総会開催予定日 2026年6月25日

配当支払開始予定日

2026年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	8,139	4.4	299	81.0	241	118.3	202	1.1
2025年3月期	7,794	2.0	165		110		200	

(注) 包括利益 2026年3月期 232百万円 (24.3%) 2025年3月期 186百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	68.05		3.9	1.7	3.7
2025年3月期	67.48		4.0	0.8	2.1

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	13,731	5,862	38.5	1,776.01
2025年3月期	13,992	5,652	36.5	1,722.71

(参考) 自己資本 2026年3月期 5,286百万円 2025年3月期 5,111百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,023	274	710	863
2025年3月期	817	132	909	825

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		0.00		10.00	10.00	29	14.8	0.6
2026年3月期		0.00		12.00	12.00	35	17.6	0.7
2027年3月期(予想)		0.00		12.00	12.00		17.0	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,900	5.2	140	5.9	110	6.2	90	4.5	30.24
通期	8,500	4.4	350	17.0	260	7.9	210	3.8	70.55

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	3,027,626 株	2025年3月期	3,027,626 株
期末自己株式数	2026年3月期	51,190 株	2025年3月期	60,434 株
期中平均株式数	2026年3月期	2,973,780 株	2025年3月期	2,967,242 株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	7,054	4.7	190	221.6	141		165	0.2
2025年3月期	6,739	1.1	59		12		165	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	55.77	
2025年3月期	55.78	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	12,825	5,046	39.3	1,695.43
2025年3月期	13,210	4,803	36.4	1,618.89

(参考) 自己資本 2026年3月期 5,046百万円 2025年3月期 4,803百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報の注記)	12
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、政府の各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続きましたものの、米国の通商政策による影響や物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社グループは、第7次中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）に基づき、化粧品向け製品の拡販と収益性の向上及びリスク耐性の強化を進めるなど、企業価値の向上に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の売上高につきましては、前連結会計年度を上回る8,139百万円（前連結会計年度比4.4%増）となりました。

損益面につきましては、営業利益は299百万円（前連結会計年度比81.0%増）、経常利益は241百万円（前連結会計年度比118.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は202百万円（前連結会計年度比1.1%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

（酸化チタン関連事業）

酸化チタン関連事業につきましては、化粧品向け製品などの出荷が増加したことに加え、販売価格値上げの効果がありました。

その結果、当セグメントの売上高は4,981百万円（前連結会計年度比8.1%増）となり、販売価格値上げの効果及びコスト削減の実施などにより、営業利益は108百万円（前連結会計年度は営業利益1百万円）となりました。

（酸化鉄関連事業）

酸化鉄関連事業につきましては、ブレーキパッド向け製品の新規採用や化粧品向け製品の出荷が増加したことに加え、販売価格値上げの効果がありましたものの、トナー向け製品の出荷が減少いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は3,156百万円（前連結会計年度比0.9%減）となりましたものの、販売価格値上げの効果及びコスト削減の実施などにより、営業利益は180百万円（前連結会計年度比17.9%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における資産合計は13,731百万円となり、前連結会計年度末に比べ260百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が127百万円、電子記録債権が343百万円、投資有価証券が145百万円それぞれ増加したものの、商品及び製品が138百万円、仕掛品が210百万円、建物及び構築物が152百万円、機械装置及び運搬具が406百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債合計は7,869百万円となり、前連結会計年度末に比べ470百万円減少いたしました。これは主に長期借入金金が593百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は5,862百万円となり、前連結会計年度末に比べ209百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が162百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、資金という。）の残高は863百万円となり、前連結会計年度末より38百万円増加いたしました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは1,023百万円（前連結会計年度は817百万円）となりました。これは、売上債権の増加（△470百万円）などの資金減があったものの、税金等調整前当期純利益（237百万円）、減価償却費（726百万円）、棚卸資産の減少（306百万円）、仕入債務の増加（118百万円）などの資金増によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは△274百万円（前連結会計年度は132百万円）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出（△276百万円）の資金減によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは△710百万円（前連結会計年度は△909百万円）となりました。これは、長期借入金の返済による支出（△593百万円）などの資金減によるものであります。

(4) 今後の見通し

第7次中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）の2年目である当連結会計年度は、化粧品向け製品の拡販と収益性の向上、リスク耐性の強化及び持続可能な社会への貢献に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度の業績は、化粧品向け製品の出荷が増加したことやプレーキパッド向け製品の新規採用に加え、販売価格値上げの効果などにより、増収増益となりました。

翌連結会計年度につきましては、雇用・所得環境が改善するなかで、政府の各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されますものの、地政学リスクの高まり及び通商政策をはじめとした米国の政策動向による影響など、先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

このような状況下で、当社グループといたしましては、第7次中期経営計画に基づき、化粧品向け製品の拡販と収益性の向上及びリスク耐性の強化への取り組みを継続し、あわせて社会とともに繁栄する持続可能な社会の実現を追求することで、当社グループの企業価値の向上を推進してまいります。

なお、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高は8,500百万円、営業利益は350百万円、経常利益は260百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は210百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間の比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	825	863
受取手形及び売掛金	1,345	1,472
電子記録債権	395	739
商品及び製品	2,855	2,716
仕掛品	821	611
原材料及び貯蔵品	830	873
その他	29	30
流動資産合計	7,105	7,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,117	2,964
機械装置及び運搬具（純額）	2,411	2,004
土地	231	231
リース資産（純額）	399	365
建設仮勘定	10	12
その他（純額）	75	62
有形固定資産合計	6,246	5,642
無形固定資産	4	3
投資その他の資産		
投資有価証券	534	679
繰延税金資産	1	4
その他	102	93
貸倒引当金	△1	—
投資その他の資産合計	636	777
固定資産合計	6,887	6,423
資産合計	13,992	13,731

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	462	562
電子記録債務	225	243
短期借入金	2,800	2,800
1年内返済予定の長期借入金	593	593
リース債務	87	89
未払法人税等	36	54
賞与引当金	138	147
その他	603	571
流動負債合計	4,947	5,062
固定負債		
長期借入金	2,707	2,114
リース債務	342	253
繰延税金負債	46	61
退職給付に係る負債	291	373
資産除去債務	4	4
固定負債合計	3,391	2,806
負債合計	8,339	7,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	402	402
利益剰余金	979	1,142
自己株式	△108	△91
株主資本合計	4,716	4,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	302	402
退職給付に係る調整累計額	91	△12
その他の包括利益累計額合計	394	389
非支配株主持分	541	575
純資産合計	5,652	5,862
負債純資産合計	13,992	13,731

(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	7,794	8,139
売上原価	6,617	6,782
売上総利益	1,177	1,356
販売費及び一般管理費	1,012	1,057
営業利益	165	299
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	22	18
受取保険金	17	4
その他	11	8
営業外収益合計	53	32
営業外費用		
支払利息	52	72
減価償却費	22	—
その他	33	18
営業外費用合計	108	91
経常利益	110	241
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	280	—
特別利益合計	281	1
特別損失		
固定資産除却損	19	5
特別損失合計	19	5
税金等調整前当期純利益	371	237
法人税、住民税及び事業税	31	34
法人税等調整額	106	△34
法人税等合計	137	△0
当期純利益	233	237
非支配株主に帰属する当期純利益	33	34
親会社株主に帰属する当期純利益	200	202

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	233	237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	99
退職給付に係る調整額	124	△104
その他の包括利益合計	△47	△5
包括利益	186	232
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	152	197
非支配株主に係る包括利益	33	34

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,443	402	809	△108	4,546
当期変動額					
剰余金の配当			△29		△29
親会社株主に帰属する 当期純利益			200		200
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	—	170	△0	170
当期末残高	3,443	402	979	△108	4,716

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	475	△33	442	507	5,495
当期変動額					
剰余金の配当					△29
親会社株主に帰属する 当期純利益					200
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△172	124	△47	33	△13
当期変動額合計	△172	124	△47	33	156
当期末残高	302	91	394	541	5,652

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,443	402	979	△108	4,716
当期変動額					
剰余金の配当			△29		△29
親会社株主に帰属する 当期純利益			202		202
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△9		16	7
自己株式処分差損の振替		9	△9		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	162	16	179
当期末残高	3,443	402	1,142	△91	4,896

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	302	91	394	541	5,652
当期変動額					
剰余金の配当					△29
親会社株主に帰属する 当期純利益					202
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					7
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	99	△104	△5	34	29
当期変動額合計	99	△104	△5	34	209
当期末残高	402	△12	389	575	5,862

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	371	237
減価償却費	713	726
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△71	△25
退職給付費用	14	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	9
受取利息及び受取配当金	△23	△20
支払利息	52	72
投資有価証券売却損益 (△は益)	△280	—
売上債権の増減額 (△は増加)	617	△470
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2	306
仕入債務の増減額 (△は減少)	△366	118
その他	△104	139
小計	908	1,096
利息及び配当金の受取額	23	20
利息の支払額	△51	△71
法人税等の支払額	△62	△22
営業活動によるキャッシュ・フロー	817	1,023
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△185	△276
有形固定資産の売却による収入	0	1
投資有価証券の売却による収入	311	—
貸付金の回収による収入	3	2
その他	2	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	132	△274
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△450	—
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△610	△593
リース債務の返済による支出	△19	△87
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△29	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△909	△710
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	39	38
現金及び現金同等物の期首残高	785	825
現金及び現金同等物の期末残高	825	863

(5)連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、酸化チタン、酸化鉄を基本にして組織が構成されており、各製品単位で包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、「酸化チタン関連事業」及び「酸化鉄関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「酸化チタン関連事業」は、酸化チタン及び高付加価値品の超微粒子酸化チタン等の製造及び販売を行っております。「酸化鉄関連事業」は、酸化鉄等の製造及び販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額 (注3)
	酸化チタン 関連事業	酸化鉄 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,609	3,183	7,793	1	7,794	—	7,794
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	96	96	△96	—
計	4,609	3,183	7,793	97	7,891	△96	7,794
セグメント利益又は損失 (△) (営業利益)	1	153	154	△0	154	11	165
セグメント資産	8,692	2,290	10,982	0	10,983	3,008	13,992
その他の項目							
減価償却費 (注4)	599	1	601	0	601	105	707
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	34	15	49	—	49	647	697

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 調整額の内容は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額11百万円は、セグメント間取引消去等によるものです。

(2) セグメント資産の調整額3,008百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社共通の資産に係るものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 減価償却費は、有形固定資産及び無形固定資産に係るものであり、長期前払費用等は含まれておりません。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額 (注3)
	酸化チタン 関連事業	酸化鉄 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,981	3,156	8,137	1	8,139	—	8,139
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	99	99	△99	—
計	4,981	3,156	8,137	101	8,238	△99	8,139
セグメント利益又は損失 (△) (営業利益)	108	180	289	△1	288	11	299
セグメント資産	8,083	2,530	10,614	0	10,614	3,117	13,731
その他の項目							
減価償却費 (注4)	584	3	588	0	588	131	720
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	28	29	58	—	58	63	121

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 調整額の内容は、以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失(△)の調整額11百万円は、セグメント間取引消去等によるものです。

(2)セグメント資産の調整額3,117百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社共通の資産に係るものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4 減価償却費は、有形固定資産及び無形固定資産に係るものであり、長期前払費用等は含まれておりません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額 (円)	1,722.71	1,776.01
1株当たり当期純利益 (円)	67.48	68.05

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	200	202
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	200	202
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,967,242	2,973,780

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

以 上